

数学 A

3 年商業科

教科	数学	科目	数学 A	単位数	2	教科書名 (発行所)	新 高校の数学 A (数研出版)
1 学習の到達目標							
図形の性質，場合の数と確率について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
評価の仕方	校内学習到達度テストで，知識・技能の定着状況进行评估する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 授業への取組状況を評価する。		校内学習到達度テストで，思考力・表現力・判断力について評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 課題の内容を評価する。 授業への取組状況を評価する。		日々の課題や週末課題，長期休業中の課題の提出状況や取組を評価する。 単元ごとに行う自己評価を参考にする。		

数学Ⅲ

3 年理数

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	4	教科書名 (発行所)	新編 数学Ⅲ (数研出版)
1 学習の到達目標							
平面上の曲線，極限，微分法および積分法についての理解を深め，知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを積極的に活用する態度を育てる。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	平面上の曲線，極限，微分法および積分法における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に付けている。		数学的活動を通して，平面上の曲線，極限，微分法および積分法における数学的な見方や考え方を身に付け，事象を数学的にとらえ論理的に考えるとともに，思考の過程を振り返り，多面的・発展的に考えることができている。		数学的活動を通して，平面上の曲線，極限，微分法および積分法における考え方に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを社会的な事象の考察に活用したり，自ら問題を考えたりして，理解を深められている。		
評価の仕方	単元テストや校内学習到達度テストで，知識・技能の定着状況を評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 授業への取組状況を評価する。		単元テストや校内学習到達度テストで，思考・判断・表現について評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 課題の内容を評価する。 授業への取組状況を評価する。		課題や週末課題，長期休業中の課題の提出状況や取組を評価する。 授業でのグループワークや課題研究への取組状況を評価する。 単元ごとに行う自己評価を参考にする。		

数学C

3 年理数、人文 I、II

教科	数学	科目	数学C	単位数	2	教科書名(発行所)	新編 数学C (数研出版)
1 学習の到達目標							
平面ベクトル、空間ベクトル、複素数平面、式と曲線についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	平面ベクトル、空間ベクトル、複素数平面、式と曲線の各分野における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。		数学的活動を通して、平面ベクトル、空間ベクトル、複素数平面、式と曲線の各分野における数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることができている。		数学的活動を通して、平面ベクトル、空間ベクトル、複素数平面、式と曲線の各分野における考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを社会的な事象の考察に活用したり、自ら問題を考えたりして、理解を深められている。		
評価の仕方	単元テストや校内学習到達度テストで、知識・技能の定着状況を評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 授業への取組状況を評価する。		単元テストや校内学習到達度テストで、思考・判断・表現について評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 課題の内容を評価する。 授業への取組状況を評価する。		課題や週末課題、長期休業中の課題の提出状況や取組を評価する。 授業でのグループワークや課題研究への取組状況を評価する。 単元ごとに行う自己評価を参考にする。		

数学探究 I

3 年人文 I、II

教科	数学	科目	数学探究 I	単位数	2	教科書名(発行所)	東温の探究数学 I (東温高校数学科)
1 学習の到達目標							
数学 I・数学 A で学習した内容をもとに、数学の基礎的な学力の定着を図り、知識を応用できる能力を養うことを目標に、数学的なものの見方や考え方を身に付ける。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	数と式、図形と計量、2 次関数、データの分析、場合の数と確率及び図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
評価の仕方	校内学習到達度テストで、知識・技能の定着状況を評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 授業への取組状況を評価する。		校内学習到達度テストで、思考・判断・表現について評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 課題の内容を評価する。 授業や探究活動への取組状況を評価する。		日々の課題や週末課題、長期休業中の課題の提出状況や取組を評価する。 授業や探究活動への取組状況を評価する。 自己評価も参考にする。		

3 年生活文化、スポーツ健康

教科	数学	科目	数学探究Ⅰ	単位数	3	教科書名(発行所)	東温の探究数学Ⅰ（東温高校数学科）
1 学習の到達目標							
数学Ⅰ・数学Aで学習した内容をもとに、数学の基礎的な学力の定着を図り、知識を応用できる能力を養うことを目標に、数学的なものの見方や考え方を身に付ける。							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	数と式、図形と計量、2次関数、データの分析、場合の数と確率及び図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
評価の仕方	校内学習到達度テストで、知識・技能の定着状況の評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 授業への取組状況を評価する。		校内学習到達度テストで、思考・判断・表現について評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 課題の内容を評価する。 授業や探究活動への取組状況を評価する。		日々の課題や週末課題、長期休業中の課題の提出状況や取組を評価する。 授業や探究活動への取組状況を評価する。 自己評価も参考にする。		

数学探究Ⅱ

3 年理数

教科	数学	科目	数学探究Ⅱ	単位数	4	教科書名(発行所)	東温の数学探究Ⅱ（東温高校数学科）
1 学習の到達目標							
数学ⅠAⅡBの各分野についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	数学ⅠAⅡBの各分野における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。		数学的活動を通して、数学ⅠAⅡBの各分野における数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることができている。		数学的活動を通して、数学ⅠAⅡBの各分野における考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを社会的な事象の考察に活用したり、自ら問題を考えたりして、理解を深められている。		
評価の仕方	単元テストや校内学習到達度テストで、知識・技能の定着状況の評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 授業への取組状況を評価する。		単元テストや校内学習到達度テストで、思考・判断・表現について評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 課題の内容を評価する。 授業への取組状況を評価する。		課題や週末課題、長期休業中の課題の提出状況や取組を評価する。 授業でのグループワークや課題研究への取組状況を評価する。 単元ごとに行う自己評価を参考にする。		

3 年人文 I

教科	数学	科目	数学探究Ⅱ	単位数	3	教科書名(発行所)	東温の数学探究Ⅱ（東温高校数学科）
1 学習の到達目標							
数学ⅠAⅡBの各分野についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる							
2 評価の規準・評価の仕方							
	知識・技能		思考力・表現力・判断力		主体的に学習に取り組む態度		
評価の規準	数学ⅠAⅡBの各分野における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けている。		数学的活動を通して、数学ⅠAⅡBの各分野における数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえ論理的に考えるとともに、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることができている。		数学的活動を通して、数学ⅠAⅡBの各分野における考え方に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを社会的な事象の考察に活用したり、自ら問題を考えたりして、理解を深められている。		
評価の仕方	単元テストや校内学習到達度テストで、知識・技能の定着状況を評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 授業への取組状況を評価する。		単元テストや校内学習到達度テストで、思考・判断・表現について評価する問題を出題する。 授業内容の確認テストを行う。 課題の内容を評価する。 授業への取組状況を評価する。		課題や週末課題、長期休業中の課題の提出状況や取組を評価する。 授業でのグループワークや課題研究への取組状況を評価する。 単元ごとに行う自己評価を参考にする。		